

特集 一すてきな人たちー 郷土史研究家 岸田 譲さん



軍艦島(長崎県) 写真撮影：竹之下 三生さん

contents

- | | |
|---------------------------------|------------------------------|
| 01 特集① 税務TOP対談 角野署長vs田中会長 | 09 税だより(府税事務所からのお知らせ) |
| 03 特集② ふるさと人物紀行 郷土史研究家 岸田 譲さん | 10 ひろば(東海道五十七次 完成400年プロジェクト) |
| 05 らうんじ(サッカー観戦の楽しみ方) 原田 久さん | 11 名所どころどころ(妙楽寺) |
| 06 門真税務署職員一覧 | 12 管内味めぐり(tre huit) |
| 07 税だより(確定申告はおうちからスマホでe-Tax!) | 13 コラム(ジャッキー・ロビンソン) |
| 08 税だより(使ってみると便利です! キャッシュレス納付!) | 14 部会だより |

～これからも地域と歩む 魅力ある協会に～



税と繁栄

題字は田中会長筆

門真納稅協会

検索

<http://www.nk-net.co.jp/kadoma/>

会員の皆様の交流を通じて、税知識の普及と地域社会への貢献を！



門真稅務署
署長

角野 正明
kadono masaaki

門真納稅協会会員の皆様方におかれましては、会報誌の「税と繁栄」の発行のほか、市民まつりや、税を考える週間行事として開催される「まちかどコンサート」や「ふれ愛コンサート」などの場を利用して、「税金クイズ」の実施やパンフレットの配布など、その時々の税に関するトレンドの広報を通じて、地域に根ざした幅広い広報活動を展開していただいております。

更には、租税教室への講師派遣等次代を担う児童・生徒の皆様に対する租税教育に多大なご尽力をいただいており、大変心強く感じております。

私どもいたしましては、皆様方とこれまで以上に連携を強固なものにして、適正な申告納税の推進と納税道義の高揚を図り、課され

当協会の活動は、四市地区での役員の方々が地域密着で市民まつりへの参加や交流活動に努力して頂いています。又、その一方、税務を主体として公益性の各種講演会や研修会、税金教室、税務研修旅行など多彩な事業を7事業部会運営委員の皆さんが活発に推進して頂いて心強いと思っています。

特に、まちかどコンサートやふれあいコンサートなど多くの市民と触れ合う活動を通じて、税の普及に努めてまいりたいと考えております。

また、青年部会や女性部会の皆様を中心とした租税教室に取り組んでいただいております。

門真税務署様を始めとした多くの関係機関とさらに連携し、タイムリーに、事業活動を推進できるよう努力してまいりたいと考えております。



TOP対談を終えて、税務署と協会役員一同

公益社団法人 門真納稅協会 会長

田中 政男
tanaka masao



松吉部会長 税務TOP対談、角野署長様、田中会長様にはご公務ご多忙の中でのご出席ありがとうございました。角野署長様にはこの度の7月の異動で大阪国税局課税第二部より門真税務署へご着任されましたご着任早々で恐縮ですが、税務行政の抱負など忌憚のないお話を聞かせください。

角野署長 公益社団法人門真納税
協会の会員の皆様方には、日頃
から税務行政全般にわたりまして、
深いご理解と格別のご協力を賜つ
ております。厚く御礼申し上げます。
この度の定期人事異動で、歴史
と伝統のある地において仕事を
させていただくことを大変光栄に
思っております。どうぞよろしく
お願い申し上げます。
さて、新型コロナウイルス感染
症につきましては、昨年5月に感染
症法上の5類に移行されて以降、1
年以上が経過し、現在では、コロ
ナ禍前の日常生活が戻ってきたと
実感できる反面、コロナ禍を経て、
我々の生活様式や社会・経済活動
に様々な変化がもたらされました。
また、来年4月には、2025年
日本国際博覧会（大阪・関西万博）
が開催される予定となつており、
最先端の技術や世界の英知が結集
することによる新たなアイデアの創造
やイノベーションの創出が期待されます。
税務行政に携わる私どもとしま
しては、デジタル化がもたらす急
速な環境変化の中においても、「納

会報誌始め広報活動について、それぞれのお立場からご意見を伺いたいのですが。

た使命を果たしていきたいと考えていますので、引き続き、税務行政の良き理解者として、一層のご支援を賜りますよう頼みます。

松吉部会長 最後に、ご着任されました角野署長様の趣味、座右の銘等ございましたらお聞かせ下さい。

松吉部会長 続きまして、田中会長様より協会活動と運営の抱負をお願いします。

これからも門真税務署様を始め、多くの関係機関と連携し、タイムリーに推進できるよう努力して広報活動を充実してまいりたいと思います。

税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」という国税庁の使命を果たしていくしかねればなりません。このため、国税庁においては、昨年6月に「税務行政のデジタル・トランスフォーメーション（DX）－税務行政の将来像2023－」を公表し、「納税者の利便性の向上」、「課税・徴収事務の効率化・高度化等」に、新たに「事業者のデジタル化促進」を加えた3つの柱に基づいて施策を進めていくこととしており、税務手続のあるべき姿である「あらゆる税務手続が税務署に行かずにできる社会」の実現を目指してまいります。具體的には、ALL e-Taxやキャッシュレス納付、更には、マイナンバーカードを利用したスマホ申告などの利用拡大に向けて、職員が一丸となり、全力で取り組む所存でございます。しかしながら、私どもの力だけでは、成し得るものではございませんので、納税協会会員の皆様方には、倍旧のご理解とご協力を賜りますよう、お願ひ申し上げます。

署をはじめ各団体と共に様々な形で税の普及啓蒙活動をしております。A-Iを始めとしたデジタル化の進歩は目覚ましく、国税庁においても新たに事業者のデジタル化促進を掲げ、社会全体のDX化を推進しています。当協会に於いても、会員を始め地域の皆様のDX化に協力できる事業活動の展開が必要となつてまいります。そのためにも財政基盤の確立や組織強化に向けた会員拡大は、魅力ある協会作りのため重要で、地区担当の4人の副会長を中心には、組織拡大に取り組むと共に、7人の事業部会長を中心には積極的に事業を進めていただいております。

今後も、副会長を柱とした地区運営と、事業部会長を中心とした事業運営の両輪で、公益法人として組織の拡大、事業の質を高めていければと思います。

また、消費税インボイス制度や、電子帳簿保存制度などの税制改正への対応として、オンラインを活用したセミナーや講習会の開催、



今も歴史名所を案内する観光ガイドを精力的にこなす岸田さん。この日は社会科見学に来た小学生たち。マップを使い、地元の歴史・魅力を余すことなく伝える。

夜間学級での勤務

第二中学校に採用していただきました。
教職に就いてからは、生徒たちに興味を抱いてもらえるよう、常に分かりやすく楽しい授業を心掛けてきました。ある時、自分の受け持っていた生徒が「おじいちゃんがもういらないと言つてるからこれあげ」と「守口市史」を持つてきてくれたんです。守口市にも色々な歴史があつたと、そこで始めて知りました。特に「東海道は五十七次。守口にその最後の宿場があつた」という話には驚きましたね。早速生徒にもそれらの話をすると、みんな目を輝かせて聞いてくれました。自分たちの住んでいる地域のことだと、生徒達も真剣に聞いてくれます。「進んで勉強してくれるなら」とそれが郷土史研究に取り組んだきっかけとなりました。

夜間学級での勤務

なった人たちの学びの場です。私は兄弟姉妹の多い家庭に生まれましたが、幸い親は何不自由なく育てくれました。しかし、当時は戦争の影響で教育の機会を奪われたり、貧困や病気などで学校へ通えないまま大人になつてしまつたりと、文字の読み書きができないという方がおられました。そういう人は市役所などに行くときは手に包帯を巻くわけです。字を書けと言われる困るからですね。

なんとか「力になれないか」と思い、夜間学級での勤務を希望し、教師生活の最後、定年退職を迎えるまでの8年間勤めることができました。

在職中は市民の戦争体験談を募集したり、それまで明らかになつていなかつた守口への空襲被害を調べ、資料集を作成するなど、郷土史研究の他に平和教育にも力を入れました。

戦争が奪うのは、人命や街といった形あるものだけではないんですね。教育を奪わされた人々は貧困や差別とずっと向き合うことになります。夜間学級での勤務は「教えるつもり」が、逆にこちらが色々と教えらました。

最後に



岸田さんと
守口地区広報部会役員

も、次世代へ
しつかり引き
継いでいきた
いですね。

取材後記



「あけばの教室」とは、基礎的学力を身に着ける場として守口市が1997年に開設した学びの場。年齢に定めは無く「明るく 楽しく 元気よく!」を合言葉に現在も開講中。岸田さんも15年にわたりて講師を務めました。

私は少年時代に描いた人生をそのまま全うすることができました。好きな野球や観光案内ができ、その上希望の教師になつたことで、多くの歴史や人に接することができました。趣味の旅行も日本中回ることができ、最高の人生でした。これも多くの良い人に恵まれ、家族の協力があつたからだと感謝しています。

皆さんもあまり難しく考えずに郷土史に触れてもらえたならなと思います。歴史から過去の事例を学び、同じ過ちを繰り返さないために一人一人が協力すれば、地域はもつと住み良いものになります。

私が郷土史の研究を始めたころと比べると、東海道が五十七次であつたといふ史実も、随分定着したように思います。最後の宿場があつたこの守口宿で、いつか大名の仮装行列や飛脚をイメージした駅伝大会などが開催でき

最後に

左 守口市の盛泉寺にて。谷井昭雄氏（中央：松下電器産業4代目社長）に「大塩平八郎」が出したとされる書簡について説明する岸田さん。

大阪平野のほぼ中央に位置する守口市。市域のほとんどが低湿地だったことから、古くは農地が大部分を占めていました。現在は市街地が広がり、大阪市内や京都方面なら電車一本で行けるなど非常に交通の便が良く、また子育て支援にも早くから取り組んできた住みよい街です。

その歴史を紐解いてみると、豊臣秀吉が築いた堤防道「文禄堤」が唯一現存していたり、大塙平八郎ゆかりの書院跡があつたり、過去には江戸川乱歩や司馬遼太郎も居住していたりと、歴史上の人物や偉人が数多く関わっています。

また、様々な史料から「東海道」は江戸から大阪まで結ばれ、本来は「五十七次」であつたことが判明しています。その最後の宿場は守口市にあります。近年では市をあげて、それらの街道文化を街の活性化に繋げようという活動が盛んに行われています。

今回お話を伺った岸田護さんは、教職を務める傍ら、長年そうした守口にまつわる歴史や郷土史について研究。それらの成果をまとめた書籍も数多く出版しており、現在も精力的に活動されています。

東海道五十七次「守口宿」 半世紀以上にわたり次世代に語り継ぐ

守口の歴史・郷土史研究家 岸田 護さん

巣しだ・まもる

昭和12年京都府出身。僧籍取得のため大谷大学へ入学。昭和38年、守口市立第二中学校（現・樟風中学校）社会科担当教員として赴任。平成元年から定年までの8年間、夜間学校で教鞭をとる。その後は守口市成人基礎学習講座「あけばの教室」で講師を務める。自身も戦争で兄を亡くしており、戦争の悲惨さを訴え続けた。退職後も著書を多数出版。現在も歴史ガイドや講演、文化財保護などの活動に取り組む。



管内4市風土記
「ふるさと紀行」
(平成15年発行)

かつて「税と繁栄」の総集編として発刊した「ふるさと紀行」にも寄稿いたしましたが、岸田さんと当協会のご縁は長きにわたります。改めてこれまでの歩みをお聞きしました。

今思えば「まぐれ」に助けられてばかりだつたように思います。私は9人兄弟の6番目として生まれました。子どもの頃は魚釣りや野球ばかりして遊んでいましたね。勉強はあまり得意ではありませんでしたが、地図など本を読むのは好きで、その頃から大きくなつたら学校の先生になりたいと思っていました。

しかし、小学校3年生の頃、親戚の寺から「岸田の家は兄弟姉妹が多いからうちに一人養子に来てくれないか。大学への費用は捻出するから」と言われました。親戚からの頼みを断りきれず、親は承諾したようです。母が「学費はこちらで用意しますから」といつて話をまとめ、私は僧籍を得るために大谷大学に入学しました。

大学生生活では野球部に所属し汗を流していたほか、観光案内のアルバイトにも精を出していました。まだラーメンが一杯30円ほどだった時代。学生課に「京都学生観光連盟」による学生ガイドの募集が掲示されており、日給を見ると500円～1,000円。当時はアルバイト先も少なく、「これだ！」と思はず心臓しました。

昭和59年、当時赴任していた守口市内の中学校にて(46歳)

憧れの職業と郷土史との出会い

やがて卒業が近づきますが、母が「自分の進みたい道へ行きなさい。寺には私がよく伝えておくから」と言つてくれたことから、昔から憧れていた教職への道を目指すことに。中学の社会科教師が希望でしたが、その折、社会科は採用人数が少ないうえ希望者が多く、非常に狭き門でした。

そんな中、ようやく見つけた教員募集に一か八かで応募したところ、これまでまぐれで合格。そして守口市立

面接で清水寺の話になり、「一寸法師はどこで生まれたか」と聞かれ、御伽草子を読んでいたおかげで「住吉大社」と答えられたことを覚えていました。大勢の学生が来ていたので「こちらあかんわ」と諦めっていましたが、まぐれで合格。当時としては実入りのいいアルバイトでした가、実際ガイドになつてみると大変で、対象は修学旅行生から一般の方や外国人まで多岐に渡りました。春秋の観光シーズンにはよほど大事な授業や試合を除いて毎日勤めていました。

使ってみると便利です！ キャッシュレス納付！

 キャッシュレス納付の3つのメリット！

- 自宅やオフィスから納付可能！
- PCやスマホで簡単手続き！
- 現金の準備が不要！

ダイレクト納付

納付方法

e-TaxやeLTAXによる簡単な操作で事前に届出をした預貯金口座から、口座引落しにより納付する方法です。

こんな方にオススメ！

源泉所得税や個人住民税（特別徴収分）など納付の機会が多い方、ご自身で振替日を指定したい方

振替納税（口座振替）

納付方法

事前に届出をした預貯金口座から、振替日に自動で口座引落しにより納付する方法です。

こんな方にオススメ！

所得税や消費税、固定資産税などを毎年納めている方、毎回の納付手続を省略したい方

おすすめ！

インターネットバンキングによる納付

納付方法

インターネットバンキング口座から納付する方法です。

こんな方にオススメ！

普段からインターネットバンキングにより決済する機会の多い方



確定申告は スマホでe-Tax！



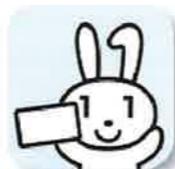
STEP1 用意するもの



暗証番号(2種類)

マイナンバー申請時に登録！
利用者証明用パスワード
数字4ケタ
署名用パスワード
英数字6～16文字

STEP2 事前準備



マイナポータルアプリをダウンロード！

Androidの方



iPhoneの方



STEP3 申告書作成

1 国税庁ホームページ 確定申告書等作成コーナーへアクセス！

2 マイナポータルへ自動でログイン
マイナンバーカードをスマホで読み取る！

3 2種類のパスワードを入力

利用者証明用パスワード
数字4ケタ

署名用パスワード
英数字6～16文字

※初めてマイナンバーカードを使用して、申告書を送信する場合に必要です。



4 スマホで申告書を作成！画面の案内に従って入力するだけ！

5 申告書をe-Tax送信！

送信した申告書の「控え」は、スマホ内に保存できます。



“女性の好き”が多く詰め込まれた隠れ家イタリアン!



①ボリューム満点!「麗しの美サラダ」(¥850～) ②天然!白身魚のカルパッチョ(¥1,280) ③埼玉県産「むさし麦豚」ロイヤルポーク肩ロース(¥2,420) ④ブッラータチーズと生ハムフルーツ(¥2,200) ⑤なかやま牧場神戸牛のボロネーゼ(¥1,600)。パスタは他にも数種類用意されています。⑥微笑みのティラミス(¥600)



Instagram



河口シェフと広報部会守口地区役員

いります。サラダやパスタ、前菜に至るまで、どれも美味しく、見た目もとても華やか。一捻りありながら、外しすぎない正統派イタリアンです。

お一人でもグループでも、気の合う仲間同士の食事から、誕生日など特別なシチュエーションまで、どんなシーンにも自信を持つてお勧めできるお店です。

実はオープンしてまだ1年半と新しい同店。夜だけでなく、ランチ営業もされていきます。席数はあまり多くはないので、ご利用の際は早めの予約を。

暑すぎる昨今の夏。つい家にこもりがちですが、お気に入りの新規開拓に是非いかがでしようか?

大阪ストローハウス「守駒」から徒歩5分
ゲストハウスが併設されたオシャレなイタリアン。特段分かりにくい場所にあるといふわけではありませんが、知らないとつい素通りしてしまうかも。ある意味隠れ家的なお店です。

店内は木目調をベースにインテリア小物がセンス良く飾られ、全体的に落ち着いた雰囲気。店内はゆったり過ごせるよう、テーブルが2席とカウンターのみとなっています。また、入口にはゆったりしたソファーアーが目を引く開放的なテラス席も設けられています。

シェフの河口翔一さんは大阪出身。以前は関東で腕を磨かれていたそう。全てイタリアンだったということで、その洗練されたセンスは料理にもいかんなく發揮されて

名所ところどころ(守口編)



平成23年4月に建て替えられた本堂

宿場町として古くから栄えてきた守口には、かつての面影を残す街並みや史跡など、様々な歴史や文化が伝えられています。大久保町にある「妙楽寺」は、阿弥陀如来を御本尊とする浄土宗のお寺です。また、地元では府の天然記念物にも指定されたツツジがあることでも知られています。寺伝によると、延宝(1673~1681)に起きた洪水で本堂や周辺の建物を流失するも、天和2年(1682)に浄土宗融通派の僧、一空知三唱阿(いつくうちじようそうあ)上人が檀家と協力し、寺を建立したのが始まりであると伝わっており、もとは天台宗のお寺でした。「妙楽」という寺号も、当初の天台宗と関係性の深い字から取られたのではと推測されます。妙楽寺が改宗したのは徳川家が実権を握っていた江戸時代。寺の変遷について、住職の河野真元さんは「家康公は浄土宗の総本山である知恩院に多大な援助をしたことで知られています。知恩院はその後も歴代将軍によって厚く庇護されました。推測になりますが、当寺の近郊に徳川家縁の武家屋敷(旧中西家住宅)もあつたことから、妙楽寺も幕府と深い結びつきがあつたといえる知恩院、もとい浄土宗に影響を受けたのでは」と語られました。

妙楽寺のオオツツジ

ツツジは漢字で書くと「躊躇(てきちょく)」。「躊(てき)」は、足踏みをする、「躇(ちょく)」も足づりをするといった意味です。すなわち『躊躇』とは、「立ち止まってしまう」といった意味があります。諸説ありますが、見る人がその美しさに足を引き止めることから、そう呼ばれるようになったといわれています。また、万葉集にも登場するほど日本では古くから親しまれている花です。

ツツジは膨大な品種がある植物で、オオムラサキはの中でも一番大きい花を付けるとされています。寒さに強く丈夫なので、街路樹など皆さんも街中で見かける機会が多い花なのでは? 樹木の上部を被うように咲く姿からはとても華麗な印象を受けます。ヒラドツツジの一般的な寿命は150年ほど。妙楽寺のものはその倍以上というのだから壮大さが伝わりますね。



河野住職と守口地区広報部会役員



住職の河野直元さん

境内の裏庭にあるツツジは、樹齢約35年。高さは約3・5mと他に類を見ないほど古く大きなものです。



Business Guard



世界有数の地震国、日本!
いつ、どこで大地震が発生しても
不思議ではありません。

地震災害のリスクに備えて、
回避・低減の対策を!



納税協会の企業地震保険

企業財産保険+財物損害補償特約+地震・噴火危険補償特約(財物損害補償特約用)

地震災害のリスクから会員企業をガードします!

この広告は保険の概要をご説明したものです。
保険の対象、建物の構造、建築年月等によってはお引受できない場合もございますのであらかじめご了承ください。
2022年2月時点の内容です。

お問い合わせ・お申し込みは

大阪プロチャネル営業部

〒530-0011 大阪市北区大深町3-1
グラント大阪タワーB
TEL. 06-7223-2010 FAX. 06-6375-7136
午前9時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

AIG損害保険株式会社

〒105-8602 東京都港区虎ノ門4-3-20

03-6848-8500

午前9時~午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

<https://www.aig.co.jp/sonpo>



(22-073006)